

小説

『ひらりと天狗 神棲まう里の物語』

明里 桜良 著

大学を卒業後、亡き母の実家で独り暮らしをしながら、豊穂市役所で働くひらり。母方の家系がナカヤシキと呼ばれていること、天狗に願掛けをする役割があったなど謎めいた話を聞く。不思議な夢をきっかけに、昔のことを調べ始め……。日本ファンタジーノベル大賞 2025、大賞受賞作。

趣味 実用

『あの人を、脳から消す技術』

菅原 道仁 著

頭の中に住みついて離れない、忘れたいの忘れられない「嫌な人間関係」。せめて、あの人が目の前にいないときは忘れたい！ そんな人は本書を読んで、脳からあの人を消してしまいましょう！ 脳は、覚えることより忘れることの方が苦手。脳科学的なアプローチでストレスのない人間関係を！！

小説

『昭和探偵物語 平和村殺人事件』

天童 荒太 著

舞台はビートルズが来日公演を行った昭和41年。とある立てこもり事件を解決した、ギターを背負った流しの探偵・鯨庭は、警部補の国生、その従姉妹の香子とともに、おぞましい事件に挑む！ 昭和という時代背景の懐かしさと、あの探偵小説を彷彿とさせる雰囲気にとっぷり浸れます。

趣味 実用

『大人の「勉強」バイブル』

日経 BP

自分のスキルアップのため、日々の生活を豊かにするため、「勉強」したい気持ちはあるけれど、何を学ぶ？ 大人のための勉強法・資格取得・教養レッスン・読書で成長など、自分に合った「勉強」を自分のペースで始めるためのバイブル本。読むだけで勉強へのモチベーションも上がります。

小説

『伝言猫が雪の山荘にいます』

標野 凧 著

あの世とこの世のあいだにあるカフェ・ポンで、伝言猫として働くふー太。もう会えない人からの想いを届けに、向かった先は閉ざされた雪の山荘!? 切られた電話線、1体ずつ消えてゆく人形、伝言の行方……。猫の視点から描かれる、ちょっぴりミステリの雰囲気ただよう伝言猫シリーズ第2弾。

趣味 実用

『「見た目が9割」をどう生きる』

中野 信子 著

SNS の流行により、ルッキズム（見た目です人を判断すること）による差別が問題視される現代社会。一方で、人間の脳が「見た目で人を判断してしまう」こともまた事実。生まれながらに人は公平でも平等でもない、この不条理な現実はどう向き合えば良いのか、美容をテーマに語った対談本。

小説

『烈風を斬れ』

砂原 浩太郎 著

豊臣秀吉の養子・秀次の遺児である孫七郎は、父が自刃した翌年に生まれた。自身の出自や豊臣家に複雑な想いを抱きながら、18才になった孫七郎は、全国に散らばる牢人たちを訪ね歩く旅へ。後に大阪の陣で活躍する名将たちとの関わり、道中での敵との闘いを通し、若者は成長してゆく。

趣味 実用

『みんなのコンビニ栄養学』

濱 裕宣 著

みんなが使うコンビニ食品。タイプは最高だけど、栄養面はどうなの？ そんな、コンビニ食品の気になる栄養面を徹底的に解説したのが本書です。栄養改善のヒントも掲載しているので、つついコンビニに頼りがちで罪悪感を感じる人は、本書を読んでコンビニ食を味方につけましょう！

小説

『死んでしまえば最愛の人』

小川 有里 著

今どきの60代～90代のシニア世代を、数多く取材して出来た、実話を元にした短編集。タイトルのインパクトもさることながら、高齢恋愛・夫婦関係・家族関係・友人関係・残りの人生など、年を取ることの良さや、人生を楽しむためのヒントが満載!? 笑って泣いて元気になれる一冊です。

趣味 実用

『美術のシンボル事典』

マシュー ウィルソン 著

多くの美術作品に描かれるモチーフ。なんの関係もないように見えますが、実は隠された意味を持つシンボルとして描かれていて、その美術作品を読み解く手がかりとなるのです。では、「ゴッホはなぜ何度も向日葵を描いたのか?」。シンボルとしての向日葵の意味を知れば、ゴッホの意図が見えてきます。